

2011年8月5日

清水建設株式会社  
代表取締役社長 \_\_\_\_\_ 殿  
清水建設株式会社取締役副社長  
関西事業本部長 \_\_\_\_\_ 殿  
清水建設株式会社関西事業本部・大阪支店  
大阪支店長 \_\_\_\_\_ 殿



仰木の里東2丁目自治会  
コモンステージ仰木の里東自治会



## 抗議申入書

去る7月30日、貴社関西事業本部大阪支店滋賀営業所が主催して実施された滋賀県大津市仰木の里学区住民に対する幸福の科学学園の学校建設にかかる「大津市中高層建築物の事前協議にかかる事前周知説明会」に関し、日本の代表的な建設会社が行う説明会とは到底思えない事象が生じたことについて、仰木の里住民として以下の点について強く抗議するものです。

この事態に対し、貴社の責任ある立場の方からのご説明と謝罪を求めるものです。

### 1. 日程調整をせずに一方的に開催したこと

地元住民は、かねてより幸福の科学学園学校建設に関する住民不安を取り除くために、各自治会合同の説明会を、相互の日程調整の上設定するように申し入れていました。

貴社は、この地元住民の申し入れを無視して、「大津市中高層建築物の事前協議にかかる事前周知説明会」という形で一方的に日時、開催場所を設定し、3日間にわたり10数回開催する形式で行う旨を突然通知してられました。

地元住民に真に理解を求めるための説明会を開催する意図であれば、この様な一方的な日程設定にはならないはずであり、私たち住民の意向を無視した説明会開催は拒否しても非難されるものではありません。しかし、私たち住民は、この機会を実のある説明会にできるようにとの思いから、住民が参加しやすい日時を1回に限定して十分な説明や質疑ができる場として開催するよう改めてご要望いたしました。

しかしながら貴社は、再びこの私たち住民の要望を無視し、当初開催通知の日時および開催回数に従って形式的に説明会を開催し続けました。こうした貴社の度重なる不誠実な対応は私たち住民としては許容できるものではなく、強く抗議するものです。

### 2. 大津市に対し虚偽の報告をしたこと

私たち住民側から、当該説明会に先立ち、貴社に対し幾度も説明会開催の要望を行ってきており、住民側窓口担当者は貴社担当者との間で幾度にもわたる調整を行ってまいりました。その際、文書でのやりとりだけでなく電話でも日程調整を行うべく、連絡先電話番号もお知らせしておりました。しかし、貴社担当者からの連絡もないままに推移し、上記説明会が一方的に設定され通知されてまいりました。

私たち住民側のこのような努力にもかかわらず、貴社担当者は、大津市に対し「地元側が説明会開催を拒否してきた」と虚偽の報告をしていたことが行政からの指摘で判明しました。この点について当該7月30日説明会の場で、貴社担当者に強く謝罪と虚偽報告の撤回を求めましたが、貴社担当者は「虚偽報告はしていない」と繰り返し、謝罪も撤回も拒否しました。

こうした清水建設(株)の企業倫理の欠如に強く抗議するものです。

### 3. 説明会は当初から1回だけで終了させる予定であったこと

説明会は、貴社の担当者により進行され、主催者側の参加者氏名を紹介の上開始されました。司会進行者は当初から「説明は約10分です。説明の後質問をお受けけます」とたった10分間、パワーポイントによる説明を行っただけでした。

そもそも中高層説明会はどのような法的趣旨で開催することが求められているのでしょうか。当日の説明会では、施主である幸福の科学学園 〇〇氏が「この説明会は建築の前に行政が開くようにもともとめているだけのもので1回開催するだけいいのです」と何度も繰り返し発言し、貴社担当者も「本日の説明会の報告書を行政に提出し、行政の判断を伺うのみです」と繰り返し発言していました。

中高層説明会についてどのような企業倫理が徹底されているのか強く抗議するものです。

### 4. 当日手許配布資料は、5月時点で町内に配布したA4サイズの見えにくい文字や数字のものであり、また必要な資料が配布されなかったこと

説明会当日、会場内に入れない程多数参加した住民に対し、貴社が準備した説明用資料は、数量も少なく、また年長者には判読が困難な程に縮小されたA4版ものが数枚配布されただけでした。パワーポイントによる図面等も会場内最前列着席者以外は読めないような映像の資料で行われ、配布されない重要な資料も数点ありました。

配布された図面は5月に住民に配布したものであると説明がありましたが、一方で、地質調査データの公表ができない理由に「設計は今後変更し、まだ最終的なものでない」ことをあげ、行政とのやりとりの中で、設計が相当変更されていることをうかがわせる発言がなされていました。

5月から3か月近く経過した7月30日の説明会で、その後かなり修正されているにも関わらず5月段階のしかも縮小された見にくい図面のみ配布し、重要な資料の配付もないままに進めるといふ、住民に理解してもらう姿勢が全く感じられないこうした不誠実な姿勢は到底認めるわけにはいきません。

強く抗議するものです。

### 5. 住民が不安に思っていることについては真摯に受け止め、丁寧に説明する姿勢が全くなかったこと

住民は、建築物を支えるべき地盤の安全性についての不安解消のため、調査結果にもとづく具体的資料による説明を希望しており、この最も関心の高い重要な要望に対し、貴社担当者は安全性を説明する重要な資料の一つであるボーリング調査結果の提示を「公開しません」と拒否しました。またUR(都市整備公団)が行った当時の開発工事の資料の提示も即座に拒否し、「これら資料によって安全性は確認できている」としか答えず、住民の気持ちを全く無視した不誠実な対応に終始しました。

貴社は、先に学校法人幸福の科学学園が主催した地元住民に対する説明会に同席しておられました。従って、住民が学園側に対して不安解消のために様々な角度から疑問や質問をしていたことや、住民の要望を無視し続けてきた学校法人幸福の科学学園の対応や、住民が不安に感じている点についても当初より充分承知されていることと思います。

また、東日本大震災において、被害調査が進む中で「切り盛り土」の地盤崩壊の生々しい被災状況が連日報道されており、住民の不安は高まっていることもご承知のはずです。

さらに、学校建築は一般建造物とは違い、子どもたちの利用施設であることと、災害時等には近隣住民の非難所となりうる公共的施設である性格上から、行政上も建物や敷地全般の校地の安全性について特段の厳しい設置基準を設けているところです。

貴社におかれては、東日本大震災の復旧・復興、また福島原発事故の一刻も早い事態収拾等に、企業の社会的責任の見地からも日夜献身奮闘されておられることと存じます。

それゆえに、今回のように計画地の安全性に不安を抱いている地元住民に対して、調査にもとづく具体的資料を示しつつ安全性の説明を行うということが、極めて基本的で重要な社会的責任であることは充分認識されていることと思います。

それにもかかわらず、「データは公開しません」を繰り返すだけで、住民の強い公開要望については、中高層協議以外で今後協議するか否かを、しかも文書のやりとりをした後に、説明するかどうか決めるという一方的姿勢を主張するという状況に終始しました。

この点について、施主である学校法人幸福の科学学園は、「清水建設が造るので心配しないで下さい」と言うだけで、住民の不安を正面から受け止めその解消に努力する姿勢は全く感じられませんでした。

この様な貴社の説明会への態度に強く抗議するものです。

#### 6. 説明会において、住民席に複数の主催者側関係者が潜入していたこと

説明会冒頭貴社司会者は、清水建設(株)が設営し進行の責任を務める旨を宣言した上で、主催者側出席者の氏名役職および職責を紹介し説明会を開始しました。にもかかわらず、説明会進行中に宗教法人幸福の科学の常務理事 \_\_\_\_\_ と自称する人物が、突然住民側席より発言し、その発言内容から住民でないことが発覚しました。これによって会場が騒然とした中、その他にも貴社下請け業者を名乗る複数の人物も含め住民以外の人物が住民側席に紛れていることが次々に判明しました。

これらの行為は貴社の主導あるいは了解の上で行われたことは明らかであり、いかなる理由があろうとも道義的に決して許されるものではありません。ましてや意図的に住民の発言や動静をメモ・録音、チェックさせるなどの諜報あるいは工作的行為が目的であったとすれば、まさしく言語道断の行為であり、貴社の社会的信頼性やコンプライアンスを根底から揺るがす重大な行為であるとして強く抗議するものです。

#### 7. 関係業者に住民を装って「やらせ発言」をさせたこと

上記の宗教法人幸福の科学の常務理事 \_\_\_\_\_ なる人物が、住民側席に潜入していたことで会場内が騒然としている中、大津市 \_\_\_\_\_ 在住の女性が自分も近隣住民ではないが、「住民側席に誰が座っていても問題はない。事前に清水建設に問い合わせたことである。」趣旨の発言を行い、さらに説明会会場を混乱に陥れました。

この発言者は、退場時に \_\_\_\_\_ と名乗り、貴社関連業者である旨を認めると共に、大津市市民部自治協議課には、(株) \_\_\_\_\_ 代表取締役の名刺交換で訪問し、電話連絡時には \_\_\_\_\_ (株)を名乗っていることがわかっています。

いずれにしても本人が申し出ているとおりに貴社関連業者であることは明らかであり「やらせ発言」をさせるゆゆしき行為は許されるものではなく、強く抗議するものです。

8. 宗教法人幸福の科学の常務理事 なる人物の身元が判明した後に建設総監督として説明会を仕切らせたこと

突如会場内で発言を開始した人物に対し、住民が身分を明らかにするよう求めましたが、当初明らかにしないので、貴社責任者にたざしたところ、「知らない」と答えて無関係のように装いました。

住民が本人に身分を明らかにするよう更に求めた結果、宗教法人幸福の科学の常務理事 〃〃〃 と名乗り、説明会主催者席に立ちはだかり、「自分は本説明会開催の総責任者であり、発言する資格と権限がある」などと、説明会を混乱に陥れる暴挙を延々と繰り返しました。

突然の事態に不安を抱く住民も多い中、貴社責任者は事態収拾の対応もせず、教団の傍若無人な行為を許容し放置しつづけました。明らかに、貴社が説明会を指揮監督する立場でこうした一連の工作を行った証左といえましょう。

中高層説明会の開催責任者としてあるまじき対応であり強く抗議するものです。

9. 説明会が混乱により不調に陥ったにもかかわらず、中高層協議は完了しているとして建築手続を進行させ、説明会開催責任を果たさなかったこと

上記により会場が騒然となり、住民が改めて説明会を開催するよう求めたにもかかわらず、貴社責任者および担当者は「中高層の説明会は今回で終了する」と繰り返し発言し、中高層説明会を開催する法的趣旨および目的をないがしろにした対応に終始し、説明会の開催責任を果たさなかった責任は重大であり強く抗議するものです。

10. 説明会全体にわたり住民に対する不誠実な対応や背信的な行為があったこと、また企業コンプライアンスを果たさなかったこと

貴社担当者は、住民が全く納得しておらず、貴社・貴社関連業者および宗教法人幸福の科学等の背信的行為によって会場が騒然となっているにもかかわらず説明会は成立しているかのような発言を繰り返しました。

日本の建設業界の代表的企業としての企業コンプライアンスや社会的責任に照らして当然果たさなければならない適切な対応が極めて不十分であったことに強く抗議します。

以上